

第7期 事業計画書

令和5年10月1日から令和6年9月30日まで

NPO 法人あったかいいねっと

1 事業実施の方針

当 NPO 法人は設立から 5 年と半年、共生型デイサービスは営業を開始して 6 年目を迎え、更なる飛躍の時期を迎えています。

第 6 期の成果として、共生型デイサービスの定員増と活動スペースの拡大、相談支援事業所の開設、とき時カフェのオープン、NPO 法人の特例認定など、法人を次のステージに導くための準備が順調に整ってきました。

第 7 期は、これらの資源をしっかりと活用し、生きづらさを抱える方々が、「地域の中で喜びや役割を持ち、自分らしく安心して暮らす」ことを叶えるために、地域共生社会の実現を目指す活動を丁寧に積み重ね、質実ともに高めていきます。

第 6 期に取得した特例認定 NPO については、特例期間が 3 年であるため、浜田市内にとどまらず全国に情報発信し、当法人の応援者を増やせるよう 3 年後の「認定 NPO」取得に向けて努力をします。

今後のビジョンについては、まず「工賃の出せる生活介護事業所」を目標にし、次いで「就労支援事業所」を目指していきます。将来は「グループホーム」「お泊りデイ・ショートステイ」など、地域が求める施設の開設も考えていきます。

各事業目標について第 6 期に引き続き第 7 期でも創意工夫と努力を重ね、順次実現を目指していきます。

【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】

① 共生型デイサービス事業について（6 年目）

これまでと同等に、目の前の笑顔のために、個々がその人らしく安心して楽しく過ごしていただけるよう、それぞれの状態に合わせた必要な介護などの支援を提供します。

それぞれの得意を引き出した活動を行い、心身の機能維持に努め支援します。そして、大きな家族として互いを大切に自助互助敬助の関りを重ねます。

ア 介護保険対象の方：現在行っている※ICFの視点からの生活リハビリを含めた個別機能訓練の成果が出ているため、継続的に実施するとともに、個々が健康に楽しみや役割を持ち過ごせるよう、より一層あたたかく丁寧な支援を行います。

※ICFとは、①健康状態②心身機能③身体構造④日常生活動作⑤生活の場への参加⑥物的、社会的、人的な環境、性別年齢体格性格などの因子

イ 障がい者の方：個々の特性・得意に合わせた作業活動や役割、作品作りにも力を入れ、「工賃が出せる生活介護事業所」を目指して努力します。

ウ 障がい児の方：当デイサービスを開設した5年前に比べ、現在は市内の障がい児を支える事業所は充実してきています。しかし、長い将来を見通した上で、児の成長発達を共生型の場で促す必要性を強く感じています。「共生の場だからこそ出来る生きる力を育み伸ばすこと」を周知し、長期休暇を利用した短期集中サポートなど、新たな障がい児支援に取り組んでいきます。

エ 共生型デイサービスの視察・体験（交流）・実践研修を実施していきます。

② 相談支援事業について

令和5年5月に事業を開始しました。丁寧な相談支援を行い利用者様に寄り添い信頼を得られるように努めていきます。現在登録利用者様は3名ですが、安定的に相談支援事業を実施できるよう登録者15名を目指し、他事業所との連携やPR活動を行っていきます。

【2. 安心して過ごせる場所作り事業】

① とき時カフェについて

地域の中の生きづらさを抱える方々へ食の支援が必須と考え、「おひとりさま食堂」（子ども食堂の構想に、対象者を生きづらさを抱える方、生活困窮者や地域の独居者・孤食者を含んだ形への取組み）と「デイサービスの利用者への昼食サービス」を合わせた形で、「とき時カフェ」を運営します。またデイサービス利用者様ご家族様、一般の方の予約も受け付けます。お菓子などの販売用食品作り、調理実習や料理教室などの企画も検討していきます。

② フリースペースについて

支援ハウスの空部屋を、地域の中の生きづらさを抱える方のフォローや地域共生社会に関わる活動を行っている団体や個人を支援するために貸出し、あたたかなまちづくりに寄与して行っています。

【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】

① あったかファームについて

あったかいいねっこの行う事業を支える柱として整備を続けます。農作物の栽培や収穫といった作業を通して、「命を感じる活動」としての役割を果たします。デイサービスの利用者のみではなく、サロン活動の一部としても地域に開いて活用していきます。

また、あったかファームの野菜を定期的に、対外的に販売出来るよう、生産性の向上を試み、あったか工房と共に地域イベントへの出店を行っていきます。

【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】

① 共生型交流サロンについて

ア 定例会・イベント

共生型交流サロンは、どなたでも参加できる地域共生社会を楽しみながら集う場で、生きづらさを抱える方々や引きこもり状態になっている本人、またその家族を支える場としての役割もあります。さらには、地域の中で人のために何かできることを行っていきたいという方々のボランティア精神を叶える場でもあります。

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を縮小していましたが、春から定期開催し、様々なイベントを企画していきます。また、本活動の周知を行い、新たにボランティアや参加者を募集し活動を広げていきます。

イ 人材育成事業

様々な研修を企画し、地域共生社会を担う人材育成を目指します。今まで研修やボランティア体験として企画実施していたものを、「共生型体験研修プログラム」として実践していき、広く人材育成していきます。また、視察研修参加者にも協力していただき学び合う場の企画も行います。

【5. その他目的を達成するために必要な事業】

① あったか工房について

利用者様やサロン活動参加者と一緒に「もの作り」を行い、就労に繋がるようにきっかけを作っていきます。

製作したものが物販収入に結び付くような仕組みを作り支援していきます。売上は、サロン活動や制作者への還元につなげていきます。積極的に地域イベントにも出店し、物販の機会を増やしていきます。

② 目の前の笑顔のために

特定の内容は定めず、その時々必要性によって自由に動ける活動で、当法人の事業目標である必要だが「まだ地域にない」サービス・支援・活動を積極的に行っていきます。

③ 傾聴相談事業

相談支援事業に携わる専門員等が、困っていることや生きづらさなどについてお話を聴く場（個人又は小グループ単位）を地域に開いていきます。

④ 整備事業

渡り廊下の屋根とデッキの風よけの設置、畑や花壇の整備、玄関等に手すりを設置するなど、快適なデイサービスの生活環境を整備していきます。

2 事業の実施に関する事項

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定の日時 場所、従事者の 予定人数 | 受益対象者の 範囲 及び予定人数 | 事業費の 予算額 (単位：千円) |
|----------------------------------|----------------------------------|---|--|--------------------------------|
| 【1. 地域共生社会の実現に向けた事業】 | | | | |
| 共生型デイサービス 「お天気いいね」 | 介護保険、障害福祉サービス事業のデイサービス | 10～11月 月～土 9：00～16：00 12～9月 月～金 9：00～16：00 | 要支援 1・2 要介護 1～5 区分2～6 定員1日 15名 | 収益： 41,430 費用： 36,000 |
| 相談支援事業所 「雨のち晴れ」 | 障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むための相談支援 | 随時 | 障害(児)者 | 収益： 500 費用：1,400 |
| 【2. 安心して過ごせる場所作り事業】 | | | | |
| とき時カフェ | 地域食堂 物販（クッキーなど） | 支援ハウス 厨房食堂 | 生活困窮者・孤食の人・子ども ・地域の人 | 収益：200 費用：150 |
| フリースペース | ・フリースペースの貸出し | 支援ハウス 和室・2階 ボランティアなど延べ6名程度 | 当法人の活動趣旨に則した団体、個人 | |
| 【3. 自然（命の循環）を感じる活動に関する事業】 | | | | |

| | | | | |
|--------------------------------|--|--|----------------------|-------------------------|
| あったかファーム | 畑作業、収穫、調理、販売など | 畑 随時 スタッフ2名 | 生きづらさを抱えている人 | 収益： 100 費用： 50 |
| 【4. 育ちあう、ひろげる活動に関する事業】 | | | | |
| 共生型交流サロン | 地域の障がいの有無、年齢に関係なく参加できる活動 引きこもり等居場所づくり | 毎月1回第3土曜日午前中（10時～12時） 浜田市熱田町112-1 スタッフ2名 | 生きづらさを抱える人 各回5名程度 | 収益(参加費)： 50 費用： 100 |
| 人材育成 | 共生型人材育成・研修会・茶話会等 | 年3回実施(2月・5月・8月) 希望者に随時 | 地域共生社会に興味ある方 | 収益（参加費）： 150 費用： 200 |
| 【5. その他目的を達成するために必要な事業】 | | | | |
| あったか工房 | 「もの作り」で就労に向けた手作業の体験。 製品として販売し作成者に還元 | 随時 必要な場所 | 利用者様やサロン活動参加者 | 収益： 200 費用： 250 |
| 目の前の笑顔のために | 地域共生社会を実現するためにまだ地域にないサービス、支援活動 | 随時 必要な場所 | 生きづらさを抱えている人 | 収益： 0 費用： 30 |
| 傾聴相談関連事業 | 困っていることや生きづらさなどについてお話を聴く（個人・小グループでの相談） | 支援ハウス 電話 | 生きづらさを抱える方 悩みのある方 | 収益： 0 費用： 50 |

| | | | | |
|------------------------------|---|----|-----------------------|--------------------------------|
| 整備事業 | 渡り廊下の屋根 とデッキの風よ けの設置 畑や花壇の整備 玄関等に手すり を設置 | 随時 | 当法人事業所 への来所者全 て | 収益： 0 費用： 500 |
| 法人活動全体 ※助成金寄付金などについては記載なし | | | | 収益： 42,730 費用： 38,933 |

※詳細については第7期活動予算書参照

3 その他の事業

実施なし